

今月21日、福祉用具専門相談員が一堂に会し、さまざまな研究発表を行う「第2回福祉用具専門相談員研究大会」(主催: 第2回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会、共催: 日本福祉用具供給協会・全国福祉用具専門相談員協会)が開催される。大会長を務める小野木孝二氏(日本福祉用具供給協会理事長)は、自立支援・介護予防効果に根拠ある福祉用具の活用を発信したいと期待を込める。

(編集部)

2年前の2019年6月、介護業界として初と

なる福祉用具専門相談員 せることにあります。第 2 回研究大会は本来、昨年開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりやむなく延期となりました。それだけに今年オンラインも

研究大会の目的は発表 期となりました。それだ けに今年オンラインも

第2回福祉用具専門相談員研究大会開催へ

「根拠ある福祉用具活用」発信を

小野木孝二氏(日本福祉用具供給協会理事長)は、自立支援・介護予防効果に根拠ある福祉用具の活用を発信したいと期待を込める。



小野木大会長

活用し、無事に第2回大会開催を迎えられること の喜びは非常に大きいも のがあります。

第2回研究大会のテー

マは「福祉用具の更なる 進化」根拠に基づいた福 祉用具の活用」と設定

能を最も効果的に提供す るサービスです。その提 供者の要となるのが福祉 用具専門相談員でありま す。

そして重要なのは、そ の専門性が「根拠」に基 づいて必要な用具が必要

ナウイユスの脅威は続い ており、介護保険利用者 の中にはデイサービス等 に行けず在宅で過ごす時 間が増加し、心身機能が 低下するリスクが指摘さ れています。そうした中、

福祉用具を介護予防や自

立支援に有効に活用する ことがますます重要と なっています。また、将 来にわたって予測される 介護人材の不足に対して も大きな力を発揮するこ とと確信しています。

(談)

<開催概要>

開催日時：6月21日午前11時～午後5時45分。日本教育会館(東京都千代田区)とオンライン(Zoomウェビナー)で開催。特別講演は日本社会事業大学専門職大学院客員教授・蒲原基道氏。演題発表は「福祉用具利用効果の追求」「地域、多職種連携」「新任相談員の実践」「新型コロナウイルス対応の取り組み」などテーマ別に30組の個人・チームが発表予定。参加費は5千円(会員)・1万円(一般)。申し込みは研究大会のサイトから。問い合わせ03・6721・5222(日福協)